

地域づくり活動 NPO 事業助成事業 実績報告

事業区分 (3-6)

団体名	特定非営利活動法人 きょうどうのわ	代表者名	(職名) (氏名) 理事長 森井 章二
事業名	六甲アイランドの団体活性化と住民の活動参加を応援する事業		

< 事業実施実績 >

年月日 定例は「月1回」 「毎〇曜日」等 で記入	場所	参加者 一般(ス タッフ)	活動内容 (勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) 講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記
7月9日	RICふれあい 会館	32 30(2)	報告交流会(本事業の説明会を兼ねる)
7月19日	RICのわ	10 9(1)	第1回実行委員会(コミュニティフェスタについて協議)
8月7日	RICのわ	10 9(1)	第2回実行委員会
9月5日	RICのわ	10 9(1)	第3回実行委員会
9月16日	六アイ全戸		フェスタチラシ配布(7000部) 店舗・施設等配架500部
9月23日	神戸ファッ ション美術 館	300 295(5)	六アイ・コミュニティフェスタ開催 27団体出展
10~1月	各団体活動 拠点	12	各団体へ、希望者を活動の見学体験にコーディネート
10月28日	インターネ ット		Media Roccoが六アイ・コミュニティフェスタのレポートを配信
12月13日	RICのわ	10 9(1)	第4回実行委員会(フェスタの反省と今後について検討)
2月8日	RICふれあい 会館	30 29(1)	報告交流会(フェスタの報告、反省と今後について検討)

< 効果と成果 >

9月23日に開催した「六アイ・コミュニティフェスタ」には27団体の出展と、団体関係者を含め300人の来場者があり、どちらも予想を大きく上回る参加状況であった。出展団体は、地縁、ボランティア、大学、企業、社会福祉法人など多岐にわたり、普段接する機会のない団体同士の交流や相互理解が進んだ。地域住民にとっても、一堂に会した六アイ内の活動団体を見ることで地域に関心が湧き、活動に参加しても良いかなといった機運醸成の効果があった。実際に、10月以降12人から見学・体験の希望があり、各団体にコーディネートした。フェスタ会場で実施したアンケートでは、住民は特定の年代に偏ることなく来場しており、年代や属性による活動への興味関心を集計・分析して、10/15まちかどネット全体会や2/8報告交流会を通じて、地域にフィードバックすることができた。

また当日の様子をNPO法人ひがしなだコミュニティメディアの協力により神戸国際大学の学生が取材し、Media Rocco (YouTube) が配信したことで、2月の報告交流会で記録として視聴、共有できたり、六アイ以外の地域に広く発信したりすることができた。

< 今後の展望 >

「六アイ・コミュニティフェスタ」には、予想を大きく上回る300人の参加があった。来場者および出展団体対象のアンケートでは、両者ともに半数以上が「多くの活動を一度に見られてよかった」「多数の団体があることを知った」という感想を寄せた。事業初年度の目標としていた「住民に地域活動を知ってもらう」「活動団体を知ってもらう」という点は達成できたと考えている。フェスタ後の活動参加については申し込みが12人あり、団体へ見学・体験をコーディネートした。しかし、担い手不足に悩む団体(屋外の美化緑化活動やシフトのある活動)につながるケースは少なく、居場所や高齢者ウォークの参加メンバーになるケースが大半というミスマッチが起こった。実行委員反省会でもこの点が今後の課題だと意見が出た。同時に「一人で見学に行くのはハードルが高い。見学ツアーや体験イベントを実施してはどうか」といったアイデアも出て、来年度は「活動のすそ野を広げる」ことを目標に取り組んでいく。アンケートには「このフェスタのようなイベントは必要」「継続開催を望む」といった声も多く寄せられ、活動参加を加速するような行事を柱に事業を展開したい。

< 収支決算書 >

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動 NPO 事業助成金	500,000
自己資金	55,064
合計	555,064

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直接 経費	スタッフ謝礼	165,000	165,000
	業務委託	110,000	66,578
	印刷・ポスティング費	91,960	91,960
	その他(ボランティア謝礼等)	178,104	176,462
	小 計	545,064	500,000
間接経費(一般管理費)		10,000	0
合 計		555,064	500,000